

保護者様もお読み下さい

◆情報公開◆

◆本校の特長◆

基礎・基本	就 職	学費支払支援
<p>技術と学科の基礎・基本の修得度をテストするのが、美容師国家試験であります。本校及び姉妹校の千葉校は、千葉県内でトップクラスの成績をおさめています。</p>	<p>本校の総合美容科は、美容師養成課程であります。美容師は美容関係唯一の「業務独占の国家資格」であります。美容界の美容師不足を反映してサロンから寄せられる求人数は卒業生の数十倍にもなります。毎年就職希望者全員が就職しています。</p>	<p>本校独自の学費長期分割納付制度は、最長5年間です。保護者様の経済的事情が変われば契約の変更もできるユニークな制度があります。</p>

学校法人 パリ美容国際学園
パリ総合美容専門学校柏校

本部に関する情報公開

財務の公開

本部・ パリ総合美容専門学校千葉校 パリ総合美容専門学校柏校 合算

独立監査人の監査について

令和3年6月24日

学校法人パリ美容国際学園
パリ総合美容専門学校千葉校
パリ総合美容専門学校柏校

独立監査人 松本香公認会計士

監査意見

私たちは、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、平成28年3月15日付け千葉県告示第186号に基づき、学校法人パリ美容国際学園の令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)の計算書類、すなわち、資金収支計算書(人件費支出内訳表を含む。)、事業活動収支計算書、貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)、収益事業に係る貸借対照表及び損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

私たちは、上記の計算書類が、学校法人会計基準(昭和46年文部省令第18号)に準拠して、学校法人パリ美容国際学園の令和3年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

学校法人パリ美容国際学園

事業活動収支計算書

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

(単位 円)

教育活動収支		科目	決算	教育活動外収支		科目	決算
収入の部	教育活動収入	学生生徒等納付金	445,235,580	支出の部	教育活動外支出	受取利息・配当金	696,165
		手数料	2,908,800			その他教育活動外収入	-
		寄付金	-			教育活動外収入の計	696,165
		経常費等補助金	34,311,256			科目	決算
		付随事業収入	2,740,210			借入金等利息	2,054,983
		雑収入	3,881,632			その他教育活動外支出	-
		教育活動収入合計	489,077,478			教育活動外支出の計	2,054,983
		科目	決算			教育活動外収支差額	△1,358,818
		人件費	232,265,666			経常収支差額	4,785,726
		教育研究経費	170,770,769			特別収支	特別収入
管理経費	79,078,903	資産売却差額	-				
徴収不能引当金繰入額	817,596	その他特別収入	-				
教育活動支出の部合計	482,932,934	施設設備補助金	-				
教育活動収支差額	6,144,544	特別収入の計	-				
		科目	決算				
		資産処分差額	-				
		その他特別支出	-				
		特別支出の計	-				
		特別収支差額	-				
		基本金組入前当年度収支差額	4,785,726				
		基本金組入額合計	△30,592,800				
		当年度収支差額	△25,807,074				
		前年度繰越収支差額	△178,318,654				
		基本金取崩額	-				
		翌年度繰越収支差額	△204,125,728				
		(参考)					
		事業活動収入 計	489,773,643				
		事業活動支出 計	484,987,917				

貸借対照表

令和3年3月31日

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	1,459,151,199	固定負債	239,393,000
有形固定資産	1,273,883,578	長期借入金	214,176,000
その他の固定資産	185,267,621	その他固定負債	25,217,000
流動資産	340,588,582	流動負債	267,555,246
現金預金	232,555,200	前受金	198,652,107
その他流動資産	108,033,382	その他流動負債	68,903,139
資産の部合計	1,799,739,781	負債の部合計	506,948,246
		純資産の部	
		科目	本年度末
		基本金	1,496,917,263
		繰越収支差額	
		翌年度繰越収支差額	△204,125,728
		純資産の部合計	1,292,791,535
		負債及び純資産の部合計	1,799,739,781

表中の△は学校法人会計独自のもので、
企業会計の損失を表わすものではありません。

柏校教育課程編成委員会 I

1. 開催日時 第1回は新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止のため中止とした
2. 委 員

委員	所属企業 団体名	役職名	任期	概要
横田 剛一	SPC グローバル (美容業界団体)	理事長	2年	首都圏に美容室15店舗経営・講師でも活躍
山場 研二	株式会社レッシュブ	代表取締役	2年	首都圏に美容室20店舗経営・講師でも活躍
中田 裕之	パリ総合美容専門学校柏校	校長	2年	
赤海 英輝	パリ総合美容専門学校柏校	副校長	2年	柏校同窓会事務局長

柏校教育課程編成委員会 II

1. 開催日時 令和3年3月8日 午後4時半から午後5時15分
2. 場 所 パリ総合美容専門学校柏校1階
3. 委 員

委員	所属企業 団体名	役職名	任期	概要
横田 剛一	SPC グローバル (美容業界団体)	理事長	2年	首都圏に美容室15店舗経営・講師でも活躍
山場 研二	株式会社レッシュブ	代表取締役	2年	首都圏に美容室20店舗経営・講師でも活躍
中田 裕之	パリ総合美容専門学校柏校	校長	2年	
赤海 英輝	パリ総合美容専門学校柏校	副校長	2年	柏校同窓会事務局長

4. 議案

1. コロナ禍における授業の方法について
2. 前年度の国家試験・就職について

【開催記録まとめ】

本委員会の赤海委員が議長となり進行した。

1. コロナ禍における授業の方法について

年度開始直後に緊急事態宣言が発出されたことにより、5月末まで休校し、その間、学生は自宅学修を行うこととし、学習内容の報告・提出のための登校日は時差登校・分散登校を取り入れ、感染拡大防止に努めた。また、学生に対しても感染拡大防止のための意識の在り方について、一人一人が理解し、実行することの大切さを日常的に伝えることで、意識が

希薄することのないよう努めていること、実技の授業については、適宜フェイスシールドを活用するなどして、感染予防をしながら、学生の学修機会が損なわれることがないよう授業を行っていることを委員へ説明した。これについて委員からも、コロナ禍により今までの生活と大きく変わり、美容業界においても、感染予防をしながら接客、営業に努めなければならない、店内消毒作業など従業員の業務を増えている中で、美容学校に修学中から感染予防への意識を高く持つことを学生へ伝えていってもらうことはとても大切であると意見があったので、学校全体で取り組んでいくことの重要性を再確認した。

2. 前年度の国家試験・就職について検討

前年度の専門課程・高等課程合わせた国家試験合格率は97.8%、卒業時における就職希望者の就職率は100%と双方とも高く、各生徒に順応した指導が行なうことが出来たと考えられる。

国家試験においては、元国家試験委員が主導となり、教員研修を行っていることが、学生への指導に良い効果をもたらしていると評価された。

就職については、通年は1年次の冬季と2年次の春季に校内就職ガイダンスを行っているが、令和2年度においてはコロナ禍による緊急事態宣言の発出などに伴い、1年次冬季のガイダンスは中止し、2年次の春季ガイダンスは通年の2日間に約60社の美容室に来校頂く形式で行っていたが、今回は分散し10日間かけて秋季に開催した。コロナ禍においても、学生の就職に対する意識が低下することがないように、工夫したことを報告し、本校の就職活動への取り組みが高い就職率につながっていると評価された。

学校関係者評価委員会

1. 開催日時 第1回は新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止のため中止とした
第2回 令和3年3月8日 午後5時半から午後6時15分
2. 場 所 パリ総合美容専門学校柏校1階
3. 委 員

委員	所属企業 団体名	役職名	任期	概要
横田 剛一	SPC グローバル (美容業界団体)	理事長	2年	首都圏に美容室15店舗経営・講師でも活躍
山場 研二	株式会社レッシュブ	代表取締役	2年	首都圏に美容室20店舗経営・講師でも活躍
中田 裕之	パリ総合美容専門学校柏校	校長	2年	
赤海 英輝	パリ総合美容専門学校柏校	副校長	2年	柏校同窓会事務局長

4. 出席委員 横田剛一、山場研二、中田裕之、赤海英輝

5. 学校関係者評価結果

項目	評価・意見
1. 教育理念・目的・育成人材像	評価について、委員から意見が出なかった。
2. 学校運営	評価について、委員から意見が出なかった。
3. 教育活動	「⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか」については、関連分野であるヘッドスパの課外授業について、

	開講3年目となった2年度において、受講者が大幅に増加したことにより、冬休みのみ開講していた講習会を冬休みと春休みに分けて開催し、希望者全員が受講できるようにしたことを評価された。
4. 学修成果	「④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」について、掲載する卒業生を増やし、卒業生の活躍を高校生等に紹介していることを評価された。
5. 学生支援	「③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか」について、特に「学費長期分割納付制度」について、このような制度は、リスクを回避して他校では見られないが、本校で実施している「長期分割納付制度」は高く評価されるものである。 「⑥学生の生活環境への支援は行われているか」について、学生の食費などの負担軽減を考えた取り組みをしていることなどが評価された。 「⑨高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか」について、コロナ禍により高校・中学校からの職業体験の受け入れが出来なかったため、感染対策を図った上で受け入れられるよう整備したい。
6. 教育環境	評価について、委員から意見が出なかった。
7. 学生の受入募集	評価について、委員から意見が出なかった。
8. 財務	「④財務情報公開の体制整備はできているか」については、現在HPで公開されており、適正な状態にあると評価された。
9. 法令等の遵守	「①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか」について、女性の多い職場であるので、出産休暇・育児休暇・職場でのセクシャルハラスメント等については、現場に責任者を決めて、法律を遵守していることが確認できる。 「③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」については、改善を行っていることが確認できる。 「④自己評価結果を公開しているか」については、HPで公開されていることが確認できる。
10. 社会貢献・地域貢献	評価について、委員から意見が出なかった。

美容師国家試験の結果

美容師試験は、基礎基本が修得されているかを試す重要な試験です。

2021年3月美容師試験の合格率（新卒） 本校 97.8%
全国平均 85.6%

公開 5

就職状況の公開

1. 2020.4-2021.3 年度の求人実績

美容師	エステティシャン	ネイリスト	アイリスト	その他（ブライダル・販売）
2,539名	316名	253名	83名	218名
74.5%	9.3%	7.4%	2.4%	6.4%

※サロンは複数校に「求人票」を出しているため実数は不明ですが、ネット上では新卒美容師1人に対して実質5倍位の求人数とされています。

	千葉県	茨城県	東京都	その他
求人票地域割合	26%	9%	50%	15%
就職地域割合	34%	11%	48%	7%

※千葉県の美容学校だと「東京に就職する場合に不利」と思っている生徒さんがいますが、上記の通り求人的一半が東京からです。全く不利はありません。

2. 就職者数

科	卒業者数	就職希望者数	就職者数
総合美容科・美容師	92	84	84
トータルネイル科	13	6	6
トータルエステ科	8	8	8

3. 就職ガイダンスの実施状況

学校主催

【2学年対象】令和2年9月16日～令和2年10月16日、
10日間実施 サロン参加数48社

【1学年対象】コロナ感染拡大防止対策のため中止とした

4. 平成26年4月に本校の創立10周年を記念して柏校同窓会を結成した。姉妹校の千葉校は認可以来卒業生が1万人に達している。千葉校・柏校の就職情報でも協力関係を持ちます。

自己評価表

【教育理念】

本学園の校是「若き日に基礎・基本を鍛えよ、若き日に知識・技術を鍛えよ、若き日に精神力を鍛えよ」を開校以来の基本的教育理念とする。

この基本の上に即戦力となるための応用技術・知識を修得し加えて心身を鍛え美容界に貢献できる人材の育成を目的とする

【教育方針】

1. 美容師養成課程における授業がまさに教育理念の「基礎・基本」である。この基礎・基本を試すのが美容師国家試験であり、本校の合格率はその成果を表している。
2. 応用技術・知識の修得で本校独自のものとして誇れるのは、都心の有名美容室のトップスタイリストたちが最新の美容技術を教えるゼミナール（職業実践教育）である。

R2年度 パリ総合美容専門学校柏校 自己評価表

1. 教育理念・目的・育成人材像

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
② 学校における職業教育の特色は何か	4
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
⑤ 各学科の教育目標・育成人材像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

● 現状

- ・②については、平成22年から坂巻ゼミを行っており、学生全員のアンケートでも高い評価を得ている。
- ・③については、企業の中核をなす美容師養成のため大学と3年次編入の提携契約を交わしているが、編入の実績は現時点ではなし。
- ・即、美容技術が行える基礎と応用技術・知識、ニーズ（心）をつかむセンスを持った人材とトータルビューティーに精通できる知識・技術を持った人材の輩出に努めている。

● 課題と今後の改善策

- ・④について、コロナの感染予防対策についての当校の取り組みなど、パリ美ニュースを使って、保護者等に周知したが、パリ美ニュースの発行が現在は不定期であるため、定期的に発行するよう努めたい。

2. 学校運営

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
④ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

● 現状

- ・①、②、③については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- ・⑤について、法人全体の重要事項は、理事会・評議員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、理事会・評議員会を開催し意思決定がなされている。
- ・④については就業規則並びに諸規定によって規定されている。

● 課題と今後の改善策

- ・⑦については、一部HP等で公開している。

3. 教育活動

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（連携による実習）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
⑬ 資質向上のための取組が行われているか	3
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

● 現状

- ・④について、平成22年度から開始の「坂巻ゼミ」では、一流美容師による「実践美容技術」と「坂巻哲也ism」で最新の技術を学ぶプログラムを実施している。
- ・⑧について、美容所経営者を招き、学生に対し講話を開催している。通年は外部の各種コンテストに参加して評価を受けていたが、今年度は外部開催のコンテスト等がなかったため、次年度に取り組んでいきたい。
- ・⑨については明確に定められている。

● 課題と今後の改善策

4. 学修成果

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

● 現状

- ・①については、コロナ禍の中でも工夫をして、就職ガイダンスを開催し、学生の就職意識が低下しないよう努めることができたので、就職希望者全員の就職が決定した。
- ・②については、総合美容科（専門課程・高等課程（中卒含）90名が美容師国家試験を受験し、88名が合格・美容師資格を取得した。美容師資格以外でも「ネイル」「メイク」

「まつ毛エクステンション」「エステ」「パーソナルカラー」「ヘッドスパ」など、各種検定試験の取得を奨励している。

- ・④については、掲載する卒業生を増やしたOG・OB BOOKを編成し、オープンキャンパスやガイダンス・資料請求者に配布するなどし、卒業生の活躍を紹介している
- 課題と今後の改善策

5. 学生支援

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	2
⑦ 保護者と適切に連携しているか	3
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

● 現状

- ・①、②について、クラス担任制を実施しており、進路・就職相談のみならず、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施している。
- ・多数の美容室が参加し学生とディスカッションできる就職ガイダンスを毎年校内で実施している。
- ・③については、本校独自の「学費長期分割納付制度」や遠距離からの入学者に対して「家賃補助制度」を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、学費納付の相談を受け付けている。遠距離からの入学者に対して「家賃補助制度」の他に「通学定期補助制度」を設け、支援の幅を広げることができた。
- ・⑥については、屋上をテラスとして整備し、学生に開放することになっている。また、コロナ禍において、アルバイト代などの収入が減少した学生が多い中で、少しでも食費などの負担軽減に貢献できるよう、ワンコインカレーを通常の100円から50円に値引きして、学生に提供した。差額は学校負担とし、学生の福利厚生への整備に努めた。

● 課題と今後の改善策

- ・通年は高校や中学校からの職場体験などを受け入れておったが、今年度は受け入れが困難であった。コロナの感染防止対策を施したうえで受け入れできるよう整備したい。

6. 教育環境

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3
③ 防災に対する体制は整備されているか	3

● 現状

- ・③については、毎年防災計画に基づき、避難訓練を実施している。

● 課題と今後の改善策

- ・②のインターンシップについては、美容室でアルバイトをする場合に、学校とオーナーと連携して、職業体験に位置づけできないか、今後の課題とする。

7. 学生の受入募集

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか	4

● 現状

- ・①、②については、パンフレット・募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、3月から10月まではオープンキャンパスを開催し、オープンキャンパスでは授業体験を実施する等して当校に対する理解を深めてもらっている。その他、県内及び隣接県に学生募集活動も実施している。
- ・③については、理事会・評議員会において、千葉県その他の美容学校の学費の平均額を上回らない額で、決定している。

● 課題と今後の改善策

8. 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

● 現状

- ・監事の監査並びに独立監査人による法定監査が行われている。

● 課題と今後の改善策

- ・財務の情報公開については、毎年監査が終了したら速やかに公開する。

9. 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
④ 自己評価結果を公開しているか	4

● 現状

- ・美容師法及び関連法令、専修学校設置基準に基づいて適正に運営している。

● 課題と今後の改善策

- ・③については、一部改善の遅れているものもある。

<以下は任意>

10. 社会貢献・地域貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 現状

・平成30年度から千葉県離職者等再就職訓練の受託を受け、訓練生の受入れを行うこととした。受入人数 30年度5名 元年度3名 2年度3名

② 課題と今後の改善策

11. 国際交流（必要に応じて）※H26から自己評価では評価は行っていません。

評価項目	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	

① 現状

② 課題と今後の改善策